



山梨学院大学付属高校の生徒たちと、茶道の体験を通して交流を深める、インドネシアの学生たち

インドネシアから 初めての修学旅行団が来県

本 県と学術・文化・スポーツの分野で交流を深めているインドネシアから、初めてとなる修学旅行団が4月中旬に来県し、二日間わたり県内に滞在しました。一行は、甲州市の大善寺を視察したり、山梨学院大学付属高校で部活動に参加するなど、日本の歴史や文化に触れました。

こうした訪日教育旅行団の受け入れにより、若年層の国際交流、将来の山梨ファンの増加を目指す取り組みを進め、インドネシアで山梨の知名度を高めています。

ハギトモが フルーツ王国山梨の 元気な姿を全国に発信

2 月の記録的な大雪により甚大な農業被害を受けた本県で、4月中旬、ハウスブドウの収穫が始まりました。当日は、雪害からの復興支援に取り組んでいるシドニーオリンピック競泳女子日本代表の萩原智子さんも収穫作業に参加。「山梨のフルーツは人を笑顔にする」と、力強いコメントでフルーツ王国山梨の元気な姿を全国にPRしてくれました。

今年のハウスブドウの生産量は、昨年よりも少なくなりますが、露地物を含めたブドウ全体では、例年並みの生産量を見込んでいます。



山梨市のブドウハウスで、たわわに実ったデラウェアを生産者と共に収穫するハギトモこと萩原智子さん



看板を設置する(公財)山梨県農業振興公社の廣瀬久信副理事長(右)と横内知事

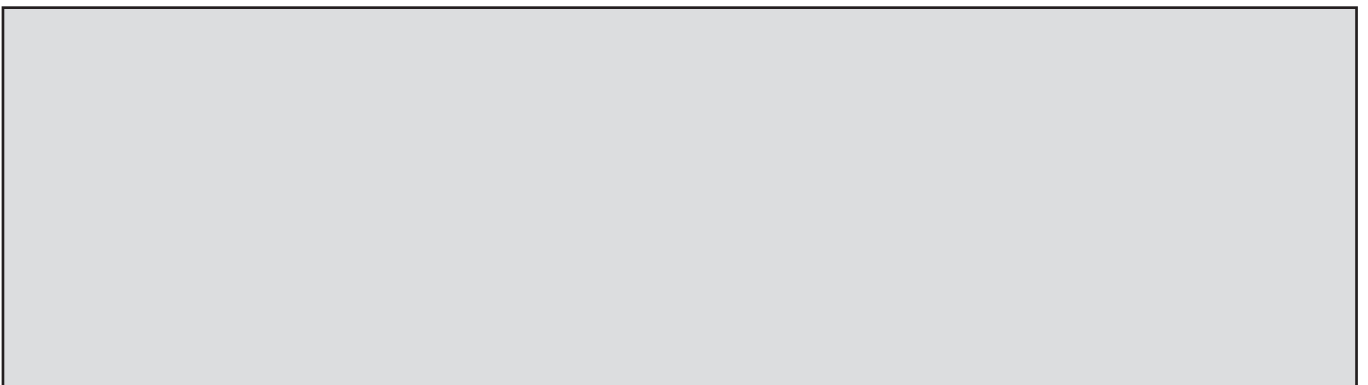
農地の貸し出しを仲介 「山梨県農地中間管理機構」開所

県 は、(公財)山梨県農業振興公社を、耕作放棄地などの農地を集約し担い手などへの貸し出しを仲介する「山梨県農地中間管理機構」に指定し、4月から業務が開始されました。

機構では、市町村、JAなどと情報を共有し、県内で農地を貸したい農家、あるいは耕作をしなくなった農家から農地を借り受けて集約し、担い手に貸し付けていきます。

集約した農地の効率的な利用を推進するため、現在、県内外の企業などにも参入を働き掛けています。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。





森林セラピーガイドの案内で、森の中を散策

「武田の杜(健康の森)」が 森林セラピー®基地として ブランドオープン

甲 府市北部にある県立武田の杜保健休養林「健康の森」が、県内2番目の森林セラピー基地として、5月下旬、ブランドオープンしました。

健康の森には、4種類の遊歩道が整備され、気軽に森の癒やし効果を体験できます。また、森林セラピーガイドによる予約制の案内プログラムもあります。

県では、森林セラピーを通して多くの方々に、より効果的な森林浴を体験していただけるよう取り組んでいきます。

高島屋新宿店で販売 「美味しい甲斐ブランド」

山 梨美味しい甲斐フェアを、4月中旬、高島屋新宿店で開催しました。

会場では、美味しい甲斐ブランドに認定された山梨ならではの農産加工品約100点のうち、地酒粕味噌で漬けたフジザクラポーク、モモ・ブドウの果肉入りプリンなど26点を販売。訪れた方々は、商品を試食しながら出店者の説明に耳を傾けていました。

県では、経営の安定した魅力ある農業を目指す生産者に対し、今後も、商品開発をはじめ、流通・販売などの支援を行っていきます。



県農政アドバイザー・小泉武夫博士監修により開発した美味しい甲斐ブランドには、ロゴマークが付けられている

ふれあいアンケート&読者プレゼント

今回のプレゼント

くだものたっぷり
デザートセット

抽選で
5名の方に!



美味しい甲斐ブランド

美味しい甲斐

検索

アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?
問2:「ふれあい特集号」に関するご意見・ご感想を。

応募方法

アンケートの回答と、次の①~⑤をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係

はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り

7月31日(木)(当日消印有効)
商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報、商品の発送のみに使用します。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

